

広報



ふ・れ・あ・い



編集・発行

印西市社会福祉協議会小林支部

TEL 42-0294

「地区社協のこれから」についての懇談会

3月1日(金)、昨年に続き、地域福祉アドバイザーの順天堂大学松山毅准教授をお迎えして、支部理事との懇談会を開催しました。

ご自身も地域で地域福祉に関わっておられ、それらの経験も踏まえ、当支部の抱える問題点や今後の課題などについて多くのアドバイスを頂きました。

コロナ感染症も沈静化に向かい通常の支部活動が戻りつつある今、先生の適切なアドバイスに、気負った支部理事の肩の力も少し抜け、今後の活動へ向けての活力剤となりました。



<工芸室にて>



さくら会食会

2月21日(水)に行われた会食会前の催しは久しぶりの絵手紙教室でした。小林北にお住まいの阿久沢先生にご指導いただき、個性あふれる力作が仕上がりました。いつもとは違った体験型の催しに参加者は熱心に絵筆を動かし、作品づくりに真剣そのものでした。

「すずかけの茶話会」が
「すずかけの会」に名称変更

令和6年4月より、従来の「すずかけの茶話会」は「すずかけの会」という名称で、小林地区のどなたにもお楽しみいただける、内容豊かなイベントとしてリニューアルいたします。

各回、町内会回覧のチラシにてご案内いたします。多くの皆さまのご来場をスタッフ一同お待ちしております。



◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
＜令和6年度 開催予定＞

- ・6月26日(水)午後2時より 「小さな音楽会」
- ・10月1日(火) // 「ヴァイオリンコンサート」
- ・12月3日(火) // 映画鑑賞会「沢田研二」



<今日の題材>



<食事会>

令和6年能登半島地震義援金募金

1月17日(水)、さくら会食の参加者及び支部理事に呼びかけ10,061円の募金を頂きました。社会福祉協議会を通して、中央共同募金会に納めました。ご支援ありがとうございました。

小林浅間地区に
新民生・児童委員

昨年12月、佐藤隆氏の後任に野村清枝氏が厚生労働大臣から委嘱されました。行政と地域住民をつなぎ地域福祉の推進役としてのご活躍を期待します。

地区担当理事 (お問合せ先)

(太字…民生・児童委員)

- ・砂田, 新田…小川(97-0212)、鈴木(97-0221)
- ・台方…浅野(97-3135)、小関(97-2210)
- ・馬場, 牧場…山口(42-3892) ・小林北1, 2…阿部(080-2393-5572)
- ・小林北3, 4, 5, 6…清倉(97-0826)、風岡(97-1562)
- ・小林浅間…野村(97-3403)、吉田(97-4687)
- ・小林大門下…橋本(97-1060)、松藤(97-2272)



*** 令和6年度行事予定 ***

行事名	予定日	対象者
* さくら会食会 (年10回)	毎月第2水曜日(5, 8月は除く)	65歳以上の独居の方
* 高齢者バスハイク (年1回)	5/15	65歳以上の方
* すずかけの会 (年3回)	6/26, 10/1, 12/3	65歳以上の方
* 支部研修交流会 (年1回)	未定	評議員と理事
* ボランティア交流会 (年1回)	未定	ボランティア活動者
* 地域見守り活動	通年	小中学生登下校時
* 広報誌『ふ・れ・あ・い』発行 (年3回)	6, 11, 3月	小林全戸配布

「救急入門コース講習会」開催

支部理事 橋本 勇

小林支部では、広報(ふ・れ・あ・い第74号令和5年11月20日発行)で地区内のAED設置マップを特集し、その啓蒙・推進をしてみました。

しかし、旭化成関連会社の一般市民への調査(2023年5月)では、目の前で突然人が倒れた時の救急処置でAED・心臓マッサージが必要不可欠であることは60%以上の人が知っているものの、自分で処置できる人は約20%に留まっています。

今回はAEDの重要性を更に理解・普及するための実践編として、本塾消防署に「救急入門コース(90分)」の講習をお願いし、令和6年1月17日に開催、未経験者を中心に参加を呼びかけました。



1. AEDって何なの？

AED(自動体外式除細動器)は、心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)の心臓に対して、裸の胸の上に貼った電極から強い電気ショックを与え、正常なリズムに戻すことができる(除細動)小型の電子機器です。

2. 救急入門コース

当日は3名の講師に小林コミュニティプラザへお出でいただき、近隣の方を中心に22名の方が参加。胸骨圧迫(心臓マッサージ)及び、AED操作の実技を初歩から学びました。

先の旭化成の調査と同様にAEDについては、殆どの方が知っているが(聞いている)、実際の操作は未経験という方も多かったこと。

また、経験者もコロナ禍で一部変更された胸骨圧迫の最新技法を学ぶことができました。

参加者からは実習も非常に有意義で、研修時間(90分)もあっという間に過ぎた....等の感想をいただきました。

3. 救命措置のまとめ(AED到着まで)

倒れている人の発見からAEDが到着するまでの行動は次のようになります。

- ①周囲の確認
- ②意識の確認
- ③救助の要請及び周囲への呼びかけ(119番・AED)
- ④呼吸の確認
- ⑤心臓マッサージ開始
- ⑥AED到着

4. AEDは電源オンでしゃべるので従うだけ！

①パッドを右胸と左脇腹に貼ってください！

②心電図を調べています！③電気ショックが必要です。体から離れてください！④点滅するボタンを押してください！

電気ショックの後は直ちに心臓マッサージを再開。AEDの指示に従い、約2分おきに心臓マッサージとAEDの手順を繰り返します。

心肺停止になった場合、除細動が1分遅れるごとに助かる確率は約10%ずつ下がるとのこと。このため、10分以上除細動がないと、生存は難しくなります。

総務省消防庁によれば、2022年の119番通報から救急車が現場に到着するまでの時間は全国平均で約10.3分。救急車を待っていたのでは助からない可能性があります！

AEDの設置率は日本が世界一と言われていますが、かけがえのない大切な生命を護るためにも、できるだけ多くの方々にこのような講習会に参加していただきたいと思いました。

①完璧でなくていい②間違っても何もしないよりいい③1秒もむだにせず、今すぐ行動④助けることができるのは、他の誰かではない⑤今そこにいるあなただけなのです！



<消防署員による実技指導>



<周囲との連携、AED装着>

AED講習会に参加して

小林第4長寿会会長 片岡カツ江

令和6年1月17日に小林コミプラで行われた講習会に参加させていただきました。私は高齢なので救命士の方のお世話になる方ですが、AEDについて詳しく知りたいと思い参加しました。

始めに開催者からの挨拶があり、次に講師の本塾消防署員3名の自己紹介がありました。代表のお話では、昨今、救急車の搬送依頼が多く、救急車が到着するまで8分位かかることや、救命についての大切なお話がありました。次に、人形を使ってAEDの使用の実技をしながら説明がありました。

その後、参加者22名が3組に分かれ交代で実技演習です。

緊張感の中にも和やかな有意義な講習会となり、いざという時、今日の研修が少しでも役立つことを願っています。

編集後記・・・表紙面にあります「すずかけの会」ですが、ネーミングの由来は小林地区中央を南北に大門下からR356に抜ける道路「すずかけ通り」からきています。多くの皆さんが通っているはずですが、今では「すずかけ通り」の看板も薄く見えなくなっている箇所が多く、少しばかり残念に思います。すずかけの木の別名はブラタナスです。4月に咲く小さな花の花言葉は「天才」だそうです。

AED(自動体外式除細動器)の講習会を受講して

牧の里東町内会会長 市村 昇

令和6年1月17日、小林コミプラにおいて社会福祉協議会小林支部主催のAEDの取り扱いに対する講習会を22名程度の方が参加して受講した。

AEDを使用して電気ショックを与えることと胸骨圧迫の方法を学び、AEDと胸骨圧迫を救急車到着まで行うことで傷病者の生存率を高めることを理解した。

以前は人工呼吸も行っていたが、今はコロナ感染症の関係で人工呼吸は行わないようであった。又、傷病者を発見したら、周りにいる人に協力を依頼して、119番通報とAEDを持ってきてもらうことも重要である。

皆さんも、これらの講習会を受講して、AEDの知識を持っていれば、人を助けることができるので積極的にこのような講習会を受けることをお勧めします。

